

「昭和初年より演じられた」

高倉の道化芝居

三番の二 さんじやく

高倉郷土芸能保存会 芸能部

ニンバで開幕

熊 「朝っから太鼓が鳴ってんなあ、八っあん」

八 「うーん、今日は熊さん、おとろろのまちだなあ」

熊 「早く仕事を了やしてよう、行ってんべえや」

八 「うん、けんど熊さん、仕事を了やしてっからじゃあまちゃあ夜まちなっち
まあでえ、たまにゃあゆっくり昼間のまちゆう見てえなあ」

熊 「ようし、このまんま行っちまあべえ」

八 「そうすべえ、行ぐべえ行ぐべえ」

ニンバ、二人は祭へ来た

熊 「ずい分いら居んなあ、人べえだ、八っあんはぐれんなよう、あれ、もう野郎
居ねえやあ。ああ、あんなどこでまぐまぐしてやあがらあ。八っあん、八っあ
ん、こっちだーい」

八 「熊さんな、足が早えからはぐれちまったあ、まっとゆっくり歩ってくんなあ」

熊 「とにかく八っあんよう、喰っついて来うやあ」

八 「ああ、喰っついて来う、ふんとうに喰っついていいの」

熊 「ああちゃんと、くっついて来うやあ」

ニンバ 八は熊の背を喰いつく

熊 「あ痛てて・・・あにいしやあがんたい、馬鹿あすんじやあねえ、ふんとうに
喰いっつくやつがあんかい」

八 「うーん、どうもおかしいたあ思ったあが、ちゃんと喰っついて来うちゅうか
んな」

熊

「いいから三尺べえ離れて来よう」

ニンバ

熊

「あれえ、野郎三尺帶う、ひつとき始めやあがった、あにうする気かなあ、あれあれ三尺帯で計ってついて来てらあ、おお……みとうもねえ事あ止せよう、だまつてついて来りやあいいだよ」

八

「へーえ、こんだあ、だまつて突いてきやあいいだな、ふんとうだな、ようし」

四丁目 八は棒で突いて行く

熊

「痛え、お、痛え……」

熊逃げ廻って閉幕

※にんばにんば囃子

四丁目くちようめ囃子